

『教育学研究』89-2号（2022年6月刊行予定）投稿論文募集

特集：新しい教育学の模索と挑戦

89-2号でも、88-2号と同様に、特集「新しい教育学の模索と挑戦」の投稿論文を募集する。その趣旨は88-2号と同様で、方法や内容は問わず、また、既存の専門学会のディシプリンに完全には適合していない多少荒削りな論文であってもいいし、もちろん従来のディシプリンをしっかりとふまえた論文であってもいいが、いずれにしても、心からおもしろいと感じ、取り組むのが愉しくなる教育学の創造につながるような論文を募集する。投稿依頼は行わず、88-2号と同様、すべて一般投稿論文からの審査によって掲載を行う。

新型コロナウイルス感染拡大以後の世界と日本の教育の未来はきわめて不透明である。格差や貧困、デジタル化、学問や社会のイノベーションをめぐる論点がそこに折り重なり、重層的な問題を構成している。民主主義や人権の在り方も各国、各地域で大きな問題となっている。そうしたなかで、教育学は、これまでの在り方を自己刷新し、従来の専門分化した専門ディシプリンの垣根を越えてそれらを架橋し、大胆な現実への切り込みと、価値の創造を行っていくことが強く求められている。本特集が求める挑戦的な研究論文とは、まさにそうした状況に積極果敢に挑み、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する研究論文である。

今回も、会員諸氏の積極的な投稿を期待したい。

締切：2022年1月31日（月）必着

送付先：日本教育学会機関誌編集委員会

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-15-2 クレアール神田 102

* 投稿にあたっては、最新の「投稿要領」を参照のうえ、封筒の表に「特集：新しい教育学の模索と挑戦」と朱書きすること。